

同志社大学ライフリスク 研究センター公開シンポジウム

アートのカ

ークリエイティブ経済と21世紀社会ー

<http://www.congre.co.jp/liferisk2010>

参加費
無料!

日時:2010年5月15日(土)14:00~17:00

場所:同志社大学寒梅館「ハーディーホール」

創造性が社会・経済の主役となる21世紀に、創造性の源泉となるアートの役割は大きく高まります。創造性の源泉としてのアートとは何かをシンポジウムで明らかにします。

●パネリスト



姜尚中
(東京大学大学院情報学環教授)



平田オリザ
(劇作家、大阪大学教授)



佐野元春
(ミュージシャン)



岡部あおみ
(武蔵野美術大学教授)

●コーディネーター 河島伸子(同志社大学経済学部教授)

主催: 同志社大学ライフリスク研究センター

参加申込書

同志社大学ライフリスク研究センターシンポジウム事務局 行
締切 5月10日(月) 先着順

下記に必要事項をご記入のうえ、5月10日(月)までにFAXでお送りください。 → **FAX:06-6229-2556**
ホームページからもお申込みいただけます。 <http://www.congre.co.jp/liferisk2010>

ふりがな	電話:	
ご氏名	FAX:	
ご住所	E-mail:	
ご住所		
ご所属	役職	受付番号 ※事務局記入欄
<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> 公務員・団体職員 <input type="checkbox"/> その他()		

お申込みいただきました個人情報につきましては、本シンポジウムに限って使用させていただきます。

プログラム

14:00~15:00 基調講演
「感動するカー私を変えた名画」
姜尚中(東京大学大学院情報学環教授)

15:20~17:00 パネルディスカッション (敬称略)
(パネリスト) 姜尚中(東京大学大学院情報学環教授)
平田オリザ(劇作家、大阪大学教授)
佐野元春(ミュージシャン)
岡部あおみ(武蔵野美術大学教授)

(コーディネーター) 河島伸子(同志社大学経済学部教授)

経歴

姜尚中(カン サンジュン) Kang Sang-jung
早稲田大学大学院政治学専攻科博士課程修了。旧西ドイツ、エアランゲン大学に留学の後、国際基督教大学などを経て、現在東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授。専攻は政治学、政治思想史。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。主な著書に『オリエンタリズムの彼方へー近代文化批判』、『マックス・ウェーバーと近代』、『ナショナリズムの克服』、『姜尚中の政治学入門』、『日朝関係の克服』、『在日』、『ニッポン・サバイバル』、『愛国の作法』、『悩む力』、『リーダーは半歩前を歩けー金大中というヒント』。
公式ホームページ <http://www.kangsangjung.com/>

平田オリザ(ひらた おりざ)
劇作家・演出家。大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授。内閣官房参事。国際基督教大学在学中に劇団「青年団」を結成する。こまばアゴラ劇場を拠点に国内外で幅広く活動。95年『東京ノート』で第39回岸田國土戯曲賞受賞。02年日韓国民交流記念事業『その河をこえて、五月』を日本と韓国で上演、第2回朝日舞台芸術賞グランプリを受賞。フランスを中心に世界各国で作品が上演・出版されている。著書に『演劇入門』『演技と演出』『芸術立国論』『対話のレッスン』。共著に『ニッポンには対話がない』『コミュニケーション力を引き出す』など。
青年団サイト <http://www.seinendan.org/jpn/info/>

河島伸子(かわしま のぶこ)
同志社大学経済学部教授。電通総研研究員、英国ウォーリック大学文化政策研究センターリサーチフェローを経て、1999年より同志社大学経済学部にて、文化経済、文化政策論、コンテンツ産業論を教える。PhD(文化政策学、ウォーリック大学)。2004~05年度にはロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、カリフォルニア大学ロサンゼルス校にて客員教授を務めた。著書に『コンテンツ産業論』(ミネルヴァ書房)、共著に『グローバル化する文化政策』(勁草書房)、『文化政策学』(有斐閣)、『アーツ・マネジメント』(放送大学教育振興会)など。

佐野元春(さのもとはる)
1980年、レコーディング・アーティストとしてデビュー以来、一貫して重要なロック・アルバムを発表してきている。83~84年のニューヨーク生活を経た後、DJ、雑誌編集など多岐にわたる表現活動を展開。1992年、アルバム『スイート16』で日本レコード大賞アルバム部門を受賞。2004年に独立レーベル[DaisyMusic]を始動し現在に至る。日本語をビートに乗せた独特なソングライティングはその後のソングライターに大きな影響を与えた。代表作に『サムデイ』(1982)、『ビジターズ』(1984)、『スイート16』(1992)、『フルーツ』(1996)、『ザ・サン』(2004)、『コヨーテ』(2007)がある。
アーティスト・ホームページ <http://www.moto.co.jp>

岡部あおみ(おかべ あおみ)
武蔵野美術大学教授。美術史、美術評論。国際的な教養と高い専門的学術的知識をもち美術館や展覧会の企画研究を行う。著書に『ボンビドー・センター物語』、『アートと女性と映像』他。
国際基督教大学、パリ・ソルボンヌ大学修士、国立ルーヴル学院第三課程研究論文卒業。パリ・ボンビドー・センター国立近代美術館特別研究員、パリ国立美術学校客員教授、メルシャン軽井沢美術館チーフ・キュレーターを経て1999年より現職。05年資生堂ギャラリーアドバイザー、06-07年ニューヨーク大学客員研究員、07年東京国立近代美術館評議員。
インタビューサイトカルチャーパワー運営
<http://apm.musabi.ac.jp/imsc/cp/>

会場のご案内

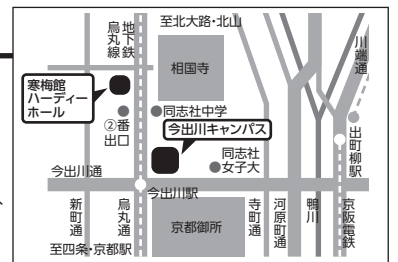
同志社大学寒梅館「ハーディーホール」

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸上ル

代表電話：075-251-3120

<http://www.doshisha.ac.jp/information/facility/kanbai/>

- 地下鉄「今出川」駅から徒歩1分
(最寄り②番出口)
- 京阪「出町柳」駅から徒歩15分



お問合せ/ 同志社大学ライフリスク研究センターシンポジウム事務局 (株) コングレ内
TEL06-6229-2555 FAX06-6229-2556
e-mail:liferisk2010@congre.co.jp